

2022年3月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2021年11月8日

上場会社名 JSR株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4185 URL <https://www.jsr.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) エリック ジョンソン
 問合せ先責任者 (役職名) 広報部長 (氏名) 武田 佳子 TEL 03-6218-3517
 四半期報告書提出予定日 2021年11月12日 配当支払開始予定日 2021年12月8日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家、アナリスト向け）

（百万円未満四捨五入）

1. 2022年3月期第2四半期の連結業績（2021年4月1日～2021年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同期増減率）

	売上収益		コア営業利益		営業利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	168,214	20.8	23,077	38.5	22,888	60.9	18,633	-	17,542	-	22,376	-
2021年3月期第2四半期	139,196	-	16,662	-	14,224	-	△784	-	△676	-	△1,959	-

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	81.60	81.49
2021年3月期第2四半期	△3.15	△3.14

（参考）税引前四半期利益 2022年3月期第2四半期 23,835百万円（83.0%） 2021年3月期第2四半期 13,022百万円（-）

（注）コア営業利益は、営業利益から非経常的な要因により発生した損益（非経常項目）を除いて算出しております。

（注）第1四半期連結会計期間より、エラストマー事業を非継続事業に分類し、非継続事業からの損益は要約四半期連結財務諸表上、継続事業と区分して、売上収益、コア営業利益、営業利益、税引前四半期利益は継続事業の金額を表示しております。

なお、前年同四半期連結累計期間についても同様に組み替えて表示しているため、これらの対前期増減率は記載しておりません。

（2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率	1株当たり親会社 所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第2四半期	706,845	386,387	349,766	49.5	1,626.25
2021年3月期	672,773	370,736	333,995	49.6	1,554.17

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	-	30.00	-	30.00	60.00
2022年3月期	-	35.00	-	-	-
2022年3月期（予想）	-	-	-	35.00	70.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上収益		コア営業利益		営業利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	346,500	11.1	52,500	38.5	52,300	52.8	39,000	-	35,500	-	165.06

（参考）税引前当期利益 通期 51,800百万円

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

（注）コア営業利益は、営業利益から非経常的な要因により発生した損益（非経常項目）を除いて算出しております。

（注）第1四半期連結会計期間より、エラストマー事業を非継続事業に分類し、非継続事業からの損益は2022年3月期の連結業績予想及び前期の連結業績上、継続事業と区分して、売上収益、コア営業利益、営業利益、税引前利益は継続事業の金額を表示しております。ただし、前期の連結業績は監査前の数値であります。

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期2Q	226,126,145株	2021年3月期	226,126,145株
② 期末自己株式数	2022年3月期2Q	11,050,835株	2021年3月期	11,223,335株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期2Q	214,962,541株	2021年3月期2Q	214,779,526株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（決算補足説明資料の入手方法）

2021年11月8日（月）に、決算説明資料を当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結損益計算書	6
(3) 要約四半期連結包括利益計算書	7
(4) 要約四半期連結持分変動計算書	8
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（2021年4月1日から同年9月30日）の概況

当社グループの主要な需要業界の動向といたしましては、半導体市場はデジタル化の進展によるインフラやデバイス需要の拡大により好調でした。バイオ医薬品関連市場も好調に推移いたしました。

デジタルソリューション事業では、半導体材料事業においては最先端技術に対応した製品の拡販を、ディスプレイ材料事業では引き続き成長が期待される中国市場において競争力のある製品を中心に拡販を進めました。

ライフサイエンス事業では、米国の統括会社が当該事業全体の戦略を主導し、バイオ医薬品の開発・製造受託（CDMO事業）、医薬品の開発受託（CRO事業）を中心に拡大に努め売上収益が大幅に増加しました。

合成樹脂事業では、主に自動車業界の需要回復を取り込み売上収益を伸ばしました。

当第2四半期連結累計期間の業績は、売上収益は1,682億14百万円（前年同期比20.8%増）、コア営業利益230億77百万円（同38.5%増）、親会社の所有者に帰属する四半期利益175億42百万円（前年同期同損失6億76百万円）となりました。

2021年5月11日開催の取締役会において、当社のエラストマー事業を当社の子会社として新たに設立する日本合成ゴム分割準備株式会社に吸収分割の方法により承継させた上で、2022年4月に当該承継会社の全株式をENEOS株式会社に譲渡することを決定し、ENEOS株式会社との間で株式譲渡契約書を締結いたしました。

これに伴い、第1四半期連結会計期間より、エラストマー事業を非継続事業に分類しております。この結果、当第2四半期連結累計期間の表示形式に合わせ、前第2四半期連結累計期間の要約四半期連結損益計算書、要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び関連する要約四半期連結財務諸表注記を一部組み替えて表示しております。

(単位：百万円)

区分	前第2四半期 連結累計期間		当第2四半期 連結累計期間		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	比率
売上収益						
デジタルソリューション事業	73,774	53.0%	80,609	47.9%	6,835	9.3%
ライフサイエンス事業	26,150	18.8%	33,692	20.0%	7,542	28.8%
合成樹脂事業	32,592	23.4%	47,782	28.5%	15,190	46.6%
その他事業	6,680	4.8%	6,132	3.6%	△548	△8.2%
調整額	△0	△0.0%	0	0.0%	0	—%
合計	139,196	100.0%	168,214	100.0%	29,019	20.8%
国内売上収益	45,469	32.7%	55,459	33.0%	9,990	22.0%
海外売上収益	93,727	67.3%	112,756	67.0%	19,029	20.3%
区分	前第2四半期 連結累計期間		当第2四半期 連結累計期間		増減	
	金額	売上 収益比	金額	売上 収益比	金額	比率
コア営業利益	16,662	12.0%	23,077	13.7%	6,415	38.5%
親会社の所有者に帰属する 四半期利益(△損失)	△676	△0.5%	17,542	10.4%	18,218	—%

① デジタルソリューション事業部門

デジタルソリューション事業につきましては、半導体材料は好調な半導体市場を背景に販売を伸ばし、ディスプレイ材料は中国での拡販を進め、売上収益は前年同期を上回りました。

コア営業利益は、半導体材料の売上収益の増加に伴う利益の増加により、前年同期を上回りました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間のデジタルソリューション事業部門の売上収益は前年同期比9.3%増の806億9百万円、コア営業利益は前年同期比15.7%増の195億89百万円となりました。

② ライフサイエンス事業部門

ライフサイエンス事業につきましては、主にCDMO事業、CRO事業及びバイオプロセス材料の販売拡大により売上収益は前年同期を上回りました。

コア営業利益は、成長投資による費用の増加はあったものの、売上収益の増加により前年同期を上回りました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間のライフサイエンス事業部門の売上収益は前年同期比28.8%増の336億92百万円、コア営業利益は前年同期比20.5%増の19億45百万円となりました。

③ 合成樹脂事業部門

合成樹脂事業につきましては、昨年度低迷していた自動車生産の回復を背景に、販売数量を大きく伸ばしたことにより、売上収益は前年同期を上回りました。

コア営業利益は、売上収益の増加に伴う利益の増加により、前年同期を上回りました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の合成樹脂事業部門の売上収益は前年同期比46.6%増の477億82百万円、コア営業利益は前年同期比431.4%増の34億55百万円となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の連結業績予想につきましては、市場環境及び業績の動向等を踏まえ、2021年5月11日の「非継続事業の分類及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想を修正しております。

2022年3月期の配当予想につきましては、業績見通しと財務状況を勘案し、2021年4月26日の「2021年3月期 決算短信〔IFRS〕(連結)」で公表いたしました配当予想を修正しております。

詳細は、2021年11月8日公表の「2022年3月期 業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間 (2021年9月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	85,377	92,696
営業債権及びその他の債権	125,292	69,164
棚卸資産	104,862	80,778
その他の金融資産	1,933	972
その他の流動資産	11,815	11,273
小計	329,279	254,882
売却目的保有に分類される処分グループに係る 資産	—	156,529
流動資産合計	329,279	411,412
非流動資産		
有形固定資産	170,428	149,276
のれん	58,633	60,427
その他の無形資産	15,014	14,185
持分法で会計処理されている投資	21,015	4,972
退職給付に係る資産	4,905	4,889
その他の金融資産	49,751	33,069
その他の非流動資産	3,598	2,268
繰延税金資産	20,150	26,347
非流動資産合計	343,494	295,433
資産合計	672,773	706,845

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間 (2021年9月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	100,797	57,280
契約負債	9,368	12,388
借入金	37,872	19,771
未払法人所得税	4,866	9,716
引当金	1,837	112
その他の金融負債	3,874	1,975
その他の流動負債	10,196	6,686
小計	168,810	107,929
売却目的保有に分類される処分グループに係る負債	—	116,573
流動負債合計	168,810	224,502
非流動負債		
契約負債	7,861	12,056
社債及び借入金	81,406	51,126
退職給付に係る負債	16,434	10,004
その他の金融負債	19,314	14,639
その他の非流動負債	5,136	4,443
繰延税金負債	3,077	3,688
非流動負債合計	133,227	95,956
負債合計	302,036	320,458
資本		
親会社の所有者に帰属する持分		
資本金	23,370	23,370
資本剰余金	11,562	11,857
利益剰余金	302,916	321,169
自己株式	△19,202	△18,908
その他の資本の構成要素	15,348	12,278
親会社の所有者に帰属する持分合計	333,995	349,766
非支配持分	36,741	36,620
資本合計	370,736	386,387
負債及び資本合計	672,773	706,845

(2) 要約四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
継続事業		
売上収益	139,196	168,214
売上原価	△86,391	△105,131
売上総利益	52,805	63,083
販売費及び一般管理費	△35,895	△40,281
その他の営業収益	782	2,005
その他の営業費用	△3,329	△1,928
持分法による投資損益	△139	10
営業利益	14,224	22,888
金融収益	280	1,642
金融費用	△1,482	△696
税引前四半期利益	13,022	23,835
法人所得税	△3,516	△6,548
継続事業からの四半期利益	9,506	17,287
非継続事業		
非継続事業からの四半期利益(△損失)	△10,290	1,346
四半期利益(△損失)	△784	18,633
四半期利益(△損失)の帰属		
親会社の所有者	△676	17,542
非支配持分	△108	1,091
合計	△784	18,633
親会社の所有者に帰属する1株当たり		
四半期利益(△損失)		
基本的1株当たり四半期利益(△損失)(円)	△3.15	81.60
継続事業	41.08	73.80
非継続事業	△44.22	7.81
希薄化後1株当たり四半期利益(△損失)(円)	△3.14	81.49
継続事業	41.01	73.69
非継続事業	△44.15	7.80

(3) 要約四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
四半期利益(△損失)	△784	18,633
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産の純変動額	26	1,973
確定給付負債(資産)の再測定額	△86	140
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	1	△2
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
キャッシュ・フロー・ヘッジに係る公正価値の純変動額	4	503
在外営業活動体の換算差額	△365	657
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	△755	472
税引後その他の包括利益合計	△1,175	3,743
四半期包括利益合計	△1,959	22,376
四半期包括利益合計額の帰属		
親会社の所有者	△2,096	21,977
非支配持分	137	399
合計	△1,959	22,376

(4) 要約四半期連結持分変動計算書

前第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	非支配 持分	資本 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素			
2020年4月1日残高	23,370	18,242	369,102	△19,547	5,626	396,793	40,619	437,412
四半期損失(△)			△676			△676	△108	△784
その他の包括利益					△1,420	△1,420	245	△1,175
四半期包括利益合計	-	-	△676	-	△1,420	△2,096	137	△1,959
株式報酬取引		17		266	△205	78		78
配当金			△6,441			△6,441	△462	△6,904
自己株式の変動		△8		52		44		44
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替			70		△70	-		-
非支配持分の変動		△257				△257	△43	△300
その他の増減額			△554		460	△95	0	△94
所有者との取引額等合計	-	△249	△6,926	318	185	△6,672	△505	△7,177
2020年9月30日残高	23,370	17,993	361,501	△19,230	4,391	388,025	40,251	428,276

当第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	非支配 持分	資本 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素			
2021年4月1日残高	23,370	11,562	302,916	△19,202	15,348	333,995	36,741	370,736
四半期利益			17,542			17,542	1,091	18,633
その他の包括利益					4,435	4,435	△692	3,743
四半期包括利益合計	-	-	17,542	-	4,435	21,977	399	22,376
株式報酬取引		281		248	△347	181		181
配当金			△6,447			△6,447	△653	△7,100
自己株式の変動		△14		46		32		32
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替			7,158		△7,158	-		-
子会社株式の売却による変動		34				34	133	167
その他の増減額		△6				△6		△6
所有者との取引額等合計	-	295	711	294	△7,505	△6,206	△520	△6,725
2021年9月30日残高	23,370	11,857	321,169	△18,908	12,278	349,766	36,620	386,387

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっている事業セグメントを基礎に決定しております。

当社グループは、本社に製品別の事業部を置き、各事業部は取り扱う製品について国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しており、また、中核グループ企業を中心となって国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。したがって、当社グループは、事業部及び中核グループ企業を基礎とした製品別のセグメントから構成されております。

当社グループは従来、半導体材料、ディスプレイ材料、エッジコンピューティング関連等を製造販売しております「デジタルソリューション事業」、「ライフサイエンス事業」、自動車タイヤ用途の汎用合成ゴム、自動車部品用途の機能性特殊合成ゴム、樹脂改質用途の熱可塑性エラストマー、塗工紙用途の合成ゴムラテックス等を製造販売しております「エラストマー事業」、及び自動車やOA機器・アミューズメント用途等のABS樹脂等を製造販売しております「合成樹脂事業」の4つを報告セグメントとしておりましたが、第1四半期連結会計期間より、「デジタルソリューション事業」、「ライフサイエンス事業」、「合成樹脂事業」の3つを報告セグメントとしております。

この変更は、当社が当社の子会社として新たに設立する日本合成ゴム分割準備株式会社に当社のエラストマー事業の一部を吸収分割の方法により承継させた上で、日本合成ゴム分割準備株式会社の全株式をENEOS株式会社に譲渡することを決定し、2021年5月11日付で、ENEOS株式会社との間で株式譲渡契約書を締結したのに伴い、エラストマー事業を非継続事業に分類したことによるものです。当社が日本合成ゴム分割準備株式会社に承継しないエラストマー事業の一部は金額的な重要性が低下したため、「その他」へ区分を変更しております。

なお、「デジタルソリューション事業」は、製品及びサービスの性質、生産過程の性質及び市場等の経済的特徴の類似性にに基づき、複数セグメントを集約した上で報告セグメントとしております。

報告セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成のために採用している方法と同一であります。

当社は、第1四半期連結会計期間よりエラストマー事業を非継続事業に分類しており、セグメント情報はエラストマー事業を除く継続事業のみの金額を表示しております。

各事業区分の主要製品

事業区分	主要製品
デジタルソリューション事業	<半導体材料事業> リソグラフィ材料（フォトリソ、多層材料）、実装材料、洗浄剤、CMP材料、等 <ディスプレイ材料事業> カラー液晶ディスプレイ材料、有機ELディスプレイ材料、等 <エッジコンピューティング事業> 耐熱透明樹脂及び機能性フィルム、光造形、等
ライフサイエンス事業	診断・研究試薬および同材料、バイオプロセス材料、創薬支援サービス、等
合成樹脂事業	A B S樹脂、A E S樹脂、A S樹脂、A S A樹脂等の合成樹脂

(2) 報告セグメントの収益及び損益

当社グループの報告セグメントに関するセグメントの情報は以下のとおりであります。

前第2四半期連結累計期間（自 2020年4月1日 至 2020年9月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結
	デジタルソリューション	ライフサイエンス	合成樹脂				
外部顧客からの売上収益	73,774	26,150	32,592	6,680	139,196	△0	139,196
セグメント損益 (コア営業利益) (注3)	16,927	1,615	650	375	19,567	△2,905	16,662

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、化学品等の仕入・販売の事業等を含んでおります。

2. セグメント損益の調整額△2,905百万円には、各セグメントに配賦されない全社損益等が含まれております。

3. セグメント損益は営業利益から事業構造改革から生じる損失等の非経常的な要因により発生した損益を控除したコア営業利益で表示しております。

当第2四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年9月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結
	デジタルソリューション	ライフサイエンス	合成樹脂				
外部顧客からの売上収益	80,609	33,692	47,782	6,132	168,214	0	168,214
セグメント損益 (コア営業利益) (注3)	19,589	1,945	3,455	493	25,482	△2,405	23,077

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、化学品等の仕入・販売の事業等を含んでおります。

2. セグメント損益の調整額△2,405百万円には、各セグメントに配賦されない全社損益等が含まれております。

3. セグメント損益は営業利益から事業構造改革から生じる損失等の非経常的な要因により発生した損益を控除したコア営業利益で表示しております。

セグメント損益から、税引前四半期利益への調整は、以下のとおりであります。

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
セグメント損益	16,662	23,077
減損損失戻入	-	1,175
事業構造改革費用	△2,438	-
子会社出資金評価損	-	△1,411
その他	-	48
営業利益	14,224	22,888
金融収益	280	1,642
金融費用	△1,482	△696
税引前四半期利益	13,022	23,835